OPTICAL RECORDING MEDIUM

Publication number: JP62245549

Publication date:

1987-10-26

Inventor:

MIYAI SEIICHI; AKAMATSU JUNICHI

Applicant:

SONY CORP

Classification:

- international:

G11B11/10; G11B7/24; G11B11/105; G11B7/24;

G11B11/00; (IPC1-7): G11B11/10

- european:

G11B7/24C; G11B11/105M2

Application number: JP19860088944 19860416 Priority number(s): JP19860088944 19860416

Also published as:

EP0242217 (A: US4807220 (A

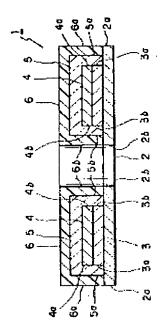
EP0242217 (A:

EP0242217 (B

Report a data error he

Abstract of JP62245549

PURPOSE:To protect an optical recording layer against moisture and oxygen and to improve the corrosion resistance thereof by coating the recording layer with inorg. protective films. CONSTITUTION:The inorg. protective film 3 is formed on a substrate 2 and the optical recording layer 4 is formed on the protective film 3. The inorg. protective film 5 is superposed and formed on the recording layer 4. The recording layer 4 is coated with the inorg. protective film in the above-mentioned manner, by which the isolation of the recording layer 4 from moisture and oxygen by the protective films 3 and 5 is executed and the corrosion resistance of the recording layer 4 is improved.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

THIS PAGE LEFT BLANK

GE LEFT BLANK

⑲ 日 本 国 特 許 庁 (J P) ⑪ 特 許 出 願 公 開

◎ 公開特許公報(A) 昭62-245549

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和62年(1987)10月26日

G 11 B 11/10

A-8421-5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

❷発明の名称 光学記録媒体

②特 顋 昭61-88944

20出 願 昭61(1986)4月16日

⑫発 明 者 滑 一 ⑫発 明 者 赤松 順 一

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

⑪出 願 人 ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

砂代 理 人 弁理士 小松 祐治 外1名

1. 発明の名称 光学記錄媒体

2. 特許請求の範囲

光学的記録層を無機質の保護膜で被覆したこと を特徴とする光学記録媒体

3. 発明の詳細な説明

本発明光学記録媒体を以下の項目に従って説明

- A.産業上の利用分野
- B. 発明の概要
- D.発明が解決しようとする問題点
- E. 問題点を解決するための手段

F-1. 第1の実施例[第1図、第2図] F-2.第2の実施例 [第3図]

Fi3.第3の実施例 [第4図]

G. 作用

H. 発明の効果

(A.産業上の利用分野)

本発明は新規な光学記録媒体に関する。詳しく は、耐腐食性が良好である新規な光学記録媒体を 提供しようとするものである。

(B. 発明の概要)

本発明光学記録媒体は光学的記録層を無機質の 保護膜で被覆し、これによって光学的記録層を混 気や酸素から保護し耐腐食性を向上させたもので

(C . 従来技術)

光学記録媒体、特に光磁気記録に用いられる光 学記録媒体としては、希土期-遊移金属の合金碑 膜などが知られている。例えば、GdCo、GdFe、

特開昭62-245549 (2)

Tofe、Dyfe、GdTbFe、TbDyfe等の非晶質膜等が知 られている。ところが、一般にこれらの光学記録 媒体は耐腐食性が劣り、湿気がある雰囲気中では 腐食されて記録媒体としての特性に劣化を生じる という欠点がある。

そこで、特別昭60-10431号公報などに 見られるように、茲板の外縁郎及び/又は内縁郎 の一部又は全郎に光学的記録層を形成しないよう にし、かつ、光学的記録層と外線部及び/又は内 緑部との間に有機質の保護膜を介在させて、光学 的記録層が外部に露出するのを極力避け光学的記 緑層を腐食から保護しようとする試みが為されて いる.

(D. 発明が解決しようとする問題点)

ところが、上記したように、茘板の外縁部及 び/又は内縁部の一部又は全部に光学的記録層を 形成しないようにし、かつ、光学的記録層を有機 質の保護膜で覆うようにしても、有機質の保護膜 では水分や酸素の遮断が充分でなく、雰囲気中の

1 の実施例を示すもので、図中1 は光学記録媒体 の全体を示すものである。

2 は円板の中心部を円形に穿孔して略ドーナッ 板状に形成された拡板であり、ガラス、ポリカー ボネート樹脂、その他の適当な材料によって形成 されている。

3 は上記基板2の上に形成された無機質の保護 膜であり、例えば、登化シリコン、登化アルミ等 の無機質材料の膜をスパッタリング等により形成 して成るものである。また、上記無機質の保護膜 3 はその外周録3 a 及び内周録3 b が基板の外周 緑 2 a 及び内岡緑 2 b より中側に位置されてい

4は上記無极質の保護膜3の上に形成された光 学的記録層であり、例えば、希土類-遺移金属の 合金膜をスパッタリング等により形成して成るも のである。そして、この光学的記録層4は上記無 機質の保護膜3の上に丁度重なる大きさとされて いる.

5 は無機質の保護膜であり、上記光学的記録層

5

水分と酸素が有機質の保護膜中に拡散し光学的記 録層にまで達し、光学的記録層を腐食せしめるこ とを完全に防止することはできない。

• • • •

(E. 問題点を解決するための手段)

本発明光学記録媒体は、上記した問題点を解決 するために、光学的記録層を無機質の保護膜で被 獲したことものである。

従って、本発明光学記録媒体にあっては、光学 的記録層を被覆している無機質の保護膜が水分と 酸素を完全に遮蔽することになるので、光学的記 緑暦は腐食から略完全に保護され、きわめて信頼 度の高い光学記録媒体を得ることができる。

(F. 実施例)

以下に、本発明光学記録媒体の詳和を図示した 実施例に従って説明する。

(F-1.第1の実施例) [第1図、第2図] 第1四及び第2回は本発明光学記録媒体の第

4 の上に重ねられ、かつ、上記無機質の保護膜 3 及び光学的記録暦 4 の外局線 3 a 、 4 a 及び内 周録3b、4bの外側及び内側に位置するよう に、スパッタリング等により形成される。そし て、この無機質の保護膜5の外周線5 a 及び 5 b は 基板 2 の外周線 2 a 及び 2 b より中側に位 置される。

6 は上記無機質の保護膜5の外側を被覆するよ うに形成された有機質の保護膜であり、例えば、 紫外線硬化型の合成樹脂を無機質の保護膜 5 上に コーティングし、これに紫外線を照射して硬化さ せることによって形成されている。また、この有 機質の保護膜 6 の外周録 6 a 及び 6 b は 基板 2 の 外周緑2a及び内周緑2bと略一致されてい

しかして、この光学記録媒体1において、光学 的記録層4は無機質の保護膜3、5によって被覆 される。従って、この無機質の保護膜3及び5が 光学的記録層4を水分や酸素から完全に隔るの で、光学的記録層4の耐腐食性が向上する。

6

特開昭62-245549(3)

(F-2.第2の実施例) [第3図]

第3回は本発明光学記録媒体の第2の実施例 1 A を示すものである。

また、上側の無機質の保護膜5は光学的記録層4の上面及び内外周録4b、4aを覆うように位置され、その下端は下側の無機質の保護膜3の上面に接したところで終っている。

尚、この第2の実施例1 Aにおける他の部分については第1の実施例1と変るところがないので、第1の実施例1において使用した符号と同じ符号を付することによって説明を省略する。そして、このことは以下の第3及び第4の実施例の説明においても同様である。

トを変えることは困難であるため、光学的記録層4の上面に対応した部分での限厚が所定の値になっていても、光学的記録層4の内外周録を外れた部分では無機質の保護膜3と光学的記録層4の厚みを足した膜厚に相当する堆積量を得られず、そのは関連などの記録層4の内間34人

この第2の実施例1Aは発明者の実験によると

第1の実施例1より耐腐食性が優れている。これ

は、無模質の保護膜5をスパッタリングによって

形成した場合、周緑郎と中央郎とでその堆積レー

の結果、光学的記録層4の内外周録4b、4aに 対応した部分での無機質の保護順5の限度が薄く なるからと思われる。それに対して、この第2の 実施例1Aにあっては、光学的記録層4を外れた

部分での厚みは他の部分の厚みに光学的記録暦 4 の厚みを足した分にすぎないので、比較的充分な 厚みを得ることができるためのであると考えられ

(F-3. 第3の実施例) [第4図] 第4図は木発明光学配録媒体の第3の実施例

1 Bを示すものである。

この第3の実施例1Bにおいて、7は光学的配録暦4の上に重ねられた反射膜であり、例えば、アルミニウムの真空蒸着等によって形成される。 そして、この反射膜7の形状及び大きさは光学的記録暦4の形状及び大きさと同じに形成され、光学的記録暦4の上に丁度重ねられたように形成される。

そして、上側の無機質の保護膜5は、下側の無機質の保護膜3、光学的記録暦4、反射膜7の内外周線をも覆うように形成されている。

そして、この第3の実施例1 B にあっては、光字的記録階 4 が無機質の保護膜 3 と反射膜 7 とによってサンドイッチ状にされるため、その削減会性は更に向上する。

(F-4.第4の実施例) [第5図]

第 5 図は本発明光学記録媒体の第 4 の実施例 1 C を示すものである。

この第4の実施例1Cにあっては、第2の実施

例の構造における光学的記録暦 4 の上にこれと同 じ形状及び大きさを有する反射膜 7 を形成したも のである。

8

この第4の実施例1 Cにあっては、光学的記録 層4の外側及び内側に位置する部分において無機 質の保護膜5 は光学的記録層4 と反射膜7 の厚み 分余分に堆積されれば良く、前記した第3 の実施 例1 Bにおけるより少ない堆積で良いため、第 1 の実施例1 と第2の実施例1 A との比較で述べ たと同じ理由で、第3の実施例1 Bより耐腐食性 が優れている。

(G.作用)

しかして、上記した各実施例1乃至1Cに示したものは表に示すように、腐食試験の結果、優れた耐腐食性を示した。

尚、上記店会試験は、外径130mm、内径 15mmのドーナツ板状に形成したポリカーポネート制面製造板上にそれぞれ第1乃至第4の実施例に示した構成を有するように各層及び脳を形成し

--269---

1 0

特開昭62-245549(4)

たものを用いた。そして、基板の内外周線と光学的記録層の内外周線との形状の登はそれぞれ約3 mm、基板の半径方向における無機質の保護膜5 の厚さは約2 mm、有機質の保護膜6 の厚さは約1 mmである。

また、比較例2は、第7図に示すように、比較例1における光学的配縁層4と無機質の保護膜5との間に反射膜7を形成したものである。

そして、腐食試験は、上記のように形成した各試料を温度80℃、湿度90%の雰囲気中に500時間放置する試験を行った。

1 1

従って、本発明光学記録媒体にあっては、光学的記録層を被覆している無機質の保護膜が水分と酸素を完全に遮蔽することになるので、光学的記録層は腐食から略完全に保護され、きわめて信頼度の高い光学記録媒体を得ることができる。

尚、上記各爽施例の説明において示した具体的な数値及び材料並びに形成手段は本発明を説明するための一例として示したものにすぎず、本発明の技術的範囲を実質的に限定するものではない。

4. 図面の簡単な説明

第1 図及び第2 図は木発明光学記録媒体の第1 の実施例を示すもので、第1 図は全体の斜視図、第2 図は各層を誇張して示す中央断面図、第3 図は木発明光学記録媒体の第2 の実施例を示す各層を誇張して示す中央断面図、第4 図は木発明光学記録媒体の第3 の実施例を示す各層を誇張して示す中央断面図、第5 図は木発明光学記録媒体の第4 の実施例を示す各層を誇張して示す中央断

表

林林		 	 		寓	¢	ø	柏	果			
的 1 実施例	ø,			典	食	飛	生	t	Ţ			
郎 2 灾 娩 例	9					阿		£				
第 3 实施例	9					m		Ŀ				
苏 4 実施別	9					冏		Ł				
比較例	1						に大			数	晃	生
比較例	2						<u>د</u>			数	兔	生

以上の表から分るとおり、本発明に係る光学記録媒体はいずれも優れた耐腐食性を示した。

(H.発明の効果)

以上に配敬したところから明らかなとおり、本 発明光学記録媒体は、光学的記録層を無機質の保 腰膜で被覆したことを特徴とする。

1 2

面図、第6図は比較例1を示す各層を制張して示す中央断面図、第7図は比較例2を示す各層を誇張して示す中央断面図である。

符号の説明

1~1 C・・・光学記録媒体、

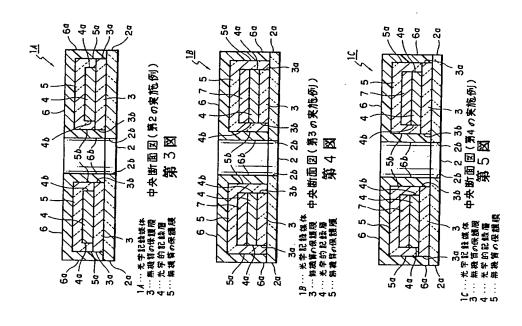
3・・・無极質の保護膜、

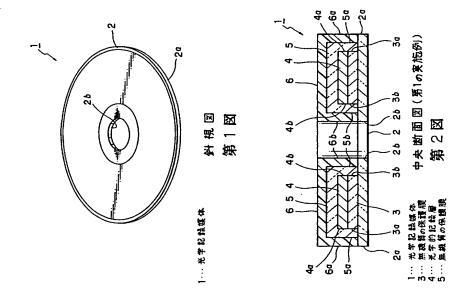
4・・・光学的記録層、

5・・・無機質の保護膜

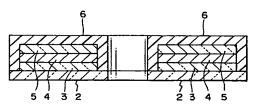
出 願 人 ソニー株式会社 代理人弁理士 小 松 祐 治 解

特開昭62-245549(5)

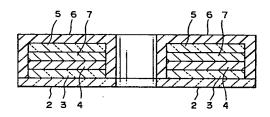




特開昭62-245549(6)



中央断面図(比較例1)第6図



中央断面図(比較例 2)第7図